

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公表番号】特表2013-503218(P2013-503218A)

【公表日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-005

【出願番号】特願2012-525996(P2012-525996)

【国際特許分類】

C 0 9 D 167/06	(2006.01)
C 0 9 D 4/00	(2006.01)
C 0 9 D 7/12	(2006.01)
C 0 8 J 7/18	(2006.01)
C 0 8 F 283/01	(2006.01)
B 0 5 D 3/06	(2006.01)
B 0 5 D 7/24	(2006.01)

【F I】

C 0 9 D 167/06	
C 0 9 D 4/00	
C 0 9 D 7/12	
C 0 8 J 7/18	C E R
C 0 8 J 7/18	C E Z
C 0 8 F 283/01	
B 0 5 D 3/06	Z
B 0 5 D 7/24	3 0 2 V
B 0 5 D 7/24	3 0 2 M

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月13日(2013.8.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

標準条件(20、1bar)で液体の組成物の被覆剤としての使用において、この組成物が、

a) -オレフィン性不飽和ポリカルボン酸、ポリオールおよび場合によってはさらなる化合物から構成される、不飽和ポリエステル樹脂、

b) ビニルエーテル基を有する化合物(ビニルエーテルと略す)、および

c) 場合によっては -オレフィン性不飽和ポリカルボン酸であるか、あるいはそのモノエステルまたはジエステル、

を含有し、その際、a)から成る -オレフィン性不飽和ポリカルボン酸および場合によっては化合物c)の二重結合の合計と、ビニルエーテルb)の二重結合とのモル比が1.3:1~0.8:1であることを特徴とする、前記組成物の使用。

【請求項2】

液体組成物が、1質量%未満のスチレンを含有する、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

液体組成物が、5質量%未満の(メタ)アクリルモノマーを含有する、請求項1または

2に記載の使用。

【請求項4】

不飽和ポリエステル樹脂が、-オレフィン性不飽和ポリカルボン酸、ポリオールおよび場合によっては飽和ポリカルボン酸および場合によってはモノカルボン酸からなり、かつポリエステル樹脂1gあたり0~45mgKOHの酸価を有する、請求項1から3までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項5】

ポリエステル樹脂が、450~8000g/molの数平均分子量Mnを有する、請求項1から4までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項6】

a)中のポリカルボン酸がマレイン酸であり、かつ化合物c)がマレイン酸、マレイン酸モノエステルまたはマレイン酸ジエステルである、請求項1から5までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項7】

ビニルエーテルが、500g/mol未満のモル質量を有するモノビニルエーテルまたはジビニルエーテルである、請求項1から6までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項8】

ビニルエーテルが、少なくとも1種のジビニルエーテルであるか、あるいは場合による他のビニルエーテルとの混合物である、請求項1から7までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項9】

ビニルエーテルが、脂肪族化合物または脂環式化合物であり、この場合、これはビニルエーテル基および場合による他のエーテル基以外に他の官能基を含有しない、請求項1から8までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項10】

ビニルエーテルの含量が、不飽和ポリエステル樹脂100質量部に対して1~100質量部である、請求項1から9までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項11】

液体組成物が、少なくとも1種の化合物c)を含有する、請求項1から10までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項12】

化合物c)の含量が、不飽和ポリエステル樹脂100質量部に対して1~20質量部である、請求項1から11までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項13】

組成物のすべての皮膜形成成分の少なくとも80質量%が、不飽和ポリエステル樹脂a)、ビニルエーテルb)および場合によっては化合物c)である、請求項1から12までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項14】

組成物が、光開始剤を含有する、請求項1から13までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項15】

組成物が、5質量%未満の水または有機溶剤を含有する、請求項1から14までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項16】

請求項1から15までのいずれか1項に記載の組成物を、被覆すべき表面上に塗布し、かつ引き続いて硬化をエネルギー光線での照射により実施する、表面を被覆する方法。

【請求項17】

請求項16に記載の方法によって得られる被覆された対象物。

【請求項18】

a) -オレフィン性不飽和ポリカルボン酸、ポリオールおよび場合によってはさらなる化合物から構成される、不飽和ポリエステル樹脂、

b) ビニルエーテル基を有する化合物（ビニルエーテルと略す）、および

c) 場合によっては - オレフィン性不飽和ポリカルボン酸であるか、あるいはそのモノエステルまたはジエステル、

を含有し、その際、a) から成る - オレフィン性不飽和ポリカルボン酸および場合によっては化合物c) の二重結合の合計と、ビニルエーテルb) の二重結合とのモル比が1.3:1~0.8:1であることを特徴とする被覆剤。